


I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森若葉養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ホームルーム）		
	単元(題材)名	修学旅行事前学習		
	単元(題材)の目標	修学旅行の見学先について調べ、まとめることで、当日の行程について見通しをもつ。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	高等	部	2・3 年 9 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション全般において苦手意識があり、特に慣れていない人とのやりとり抵抗感を抱きやすい。 ・大勢の人前での発表が苦手であるが、資料を提示したり、録音音声を流したりするなど、発表方法を工夫することで、活動に参加することができる。 ・情報機器の操作はある程度でき、様々な授業で活用している。 		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	パソコン		
	使用したアプリケーションの名称	Google スライド 		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
I C T 活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・情報端末の操作に慣れている実態を活かすことで、学習活動の効率化を図る。 ・旅行本だけでは知り得ないタイムリーな情報を収集し、行事に期待感を高めることができる。 ・コミュニケーション面に苦手意識があるが、クラスメイトとペアになって作業することで、対話する場を確保することができる。 			
活用の状況と支援	<ul style="list-style-type: none"> ・本校は少人数の学習環境のため、話し合い活動を設定することが困難な状況が多い。しかし、本単元では、クラスメイトとペアになって協働作業をする活動をあえて設定したことで、小集団で対話ができる状況を作ることができ、コミュニケーションスキルの確立を目指す点からすると、有効な手立てだと感じた。 ・「情報」の授業をはじめ、日頃から情報端末に触れている生徒が多いため、操作のスキルは身に付いている生徒が多く、比較的スムーズに活動を進めることができた。 ・生徒たちがスライドでまとめたものを、誰もが目にできる場所へ掲示したことで、生徒同士で話題にしたり、多くの職員が生徒へ言葉を掛けたりする様子が見られた。本単元のねらいは、学習を通して生徒自身が行事に見通しをもつことであるが、発表に苦手意識をもつ生徒たちが、成果物を間接的に評価してもらえた喜びを感じる様子も見られ、有効な活動であると感じた。 			